



52

みみよい

「あいうえお」

坪井 順子

早いもので、今年もあとわずかとなりました。何かとにぎわう季節ですが、今年はお家でのんびりという方も多いのではないのでしょうか。

毎年、今頃発表される「今年の漢字」。予想通りというべきか…「密」でしたね。では、センターの今年の一字は？いろいろある中で、「守」の字が思い浮かびました。新型コロナウイルス感染拡大により「緊急事態宣言」が出され自粛。センターでも、様々な事業が中止や延期になりました。こんなことになるなんて、去年の今頃には誰も予想ができませんでした。敵は目に見えないウイルスです。職員や通訳者が媒体になってはいけない。今まで以上に、「命を守る」ことについて考えた年でした。



今後、通訳派遣が止まることではないと思いますが、高熱や咳、頭痛等の症状がある方の受診時は、通訳者は同行できません。代わりにスマホやタブレットでの遠隔通訳をご利用いただけます。また、37度5分以上熱がある場合などの受診は、事前にかかりつけの病院への連絡が必要です。通訳を依頼される時には、必ず症状をお知らせください。

遠隔通訳に抵抗のある方もおられるかもしれませんが、今後の備えのため

も、ぜひ、今のうちにお試しください。不安な時だからこそ、寄り添う気持ちを大切に。センターもあゆみをとめず前向きに進んでいきたいと思えます。

みみサロンは配信型で開催

11月21日のみみサロンは、コロナウイルス感染拡大予防の観点からユーチューブ (YouTube) で配信しました。テーマは「救急隊員からのコロナ対策のお話」。講師の救急救命士、沖 幸治氏には、事前の撮影に何度も来館してご準備いただきました。ありがとうございます。

救急隊員としての多くの災害の経験から、今、どのように災害対策が変わってきているか。そこから、やみくもにコロナウイルスを怖がるのではなく、個人個人が気をつければ対策できることをわかりやすく説明していただきました。聴覚障害者が助かる、簡単に作れる透明マスクの作り方なども学べます。



今回見逃した方は、堺市のホームページでも配信されます。もちろん手話通訳・字幕付きです。ぜひご視聴してください。

「NANO」の絵本の読み聞かせ会

今年、「プラザアートフェスティバル」の一環としてご協力いただきました。



いつもステキな読み聞かせを披露してくださる「くるくる」のみなさん。今回も、大きな恐竜が絵本から飛び出してきたかのような表現をみんなで見ました。



「づくり」のゲーム。おとも子どもも真剣勝負！おいしそうなお弁当ができました。くるくるのみなさん、いつもありがとうございます。

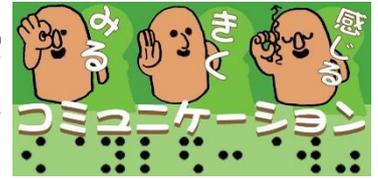
障害者週間フェスティバル

今年は規模を縮小して開催したため、手話体験と筆談体験を実施しました。

午前中の手話体験は、堺市ろうあ者福祉協会の会員さんが講師。初めて手話を学ぶ方を対象に自己紹介の手話を教えていただきました。名前の表し方の他、好きな食べ物や色、趣味に関する手話を学びました。みなさん覚えが早く、紹介内容が膨らんで、楽しく交流できました。

午後の筆談会には3名のご参加があり、「筆談は初めて」という方も一緒におり、やべりに花が咲きました。

「みるきく感じる」コミュニケーション



平成29年4月に試行された「堺市手話言語・コミュニケーション条例」の普及イベントとして、12月13日(日)にバリアフリー映画「レインツリーの国」上映会と、「絵・手話・文字・歌で奏でる公演『いけす』とトーク」を実施しました。



「レインツリーの国」の主人公は聴覚障害の女性と聞こえる男性。戸惑い、遠慮、いろいろな感情のすれ違いもありながら、語り、つながっていく姿に、コミュニケーションの大切さを感じました。

午後は、NPO法人MAMIE(マミー)にご協力いただき、聞こえない子ども(代表の安藤美紀さん)とそのお母さんの実体験を題材にした手話劇を披露していただきました。

ラストと文字、光も取り入れたの演出。参加者からは「伝える工夫がされていてよかった」、「心に響き、自然と涙が出てきた」、「手話歌に感動！」という感想をいただきました。

ました。公演後は、聴導犬アミーちゃんも登場してのデモンストレーション。オマケの交流のつもりが、ユーザーの安藤さんの熱のこもった講演会になりました。

1階エントランスでは、当事者団体や手話・要約筆記サークルの紹介ポスターも掲示。力作揃いのポスターに足を止めてくださる方も。様々なコミュニケーションを知り、「伝える」とを大切にしていきたいですね。



もしサロン
筆談会の部

文字で内容を確認しながら、おしゃべりを楽しむ交流の場です。

- 10月8日 参加1名
「保険の話」
- 11月8日 参加2名
「マスクの不便さ」

※1人でも開催します。
お気軽にどうぞ。



次は
1月14日(木)
10時~12時
4階D会議室
2月4日(木)
午後2時~4時
2階ライブラリー
「密」を避けるために
人数制限をしています。
事前にお申込みをお願いします。

(担当：芦田)

会話支援機「タブレット mimi」お試いただけます

難聴の方との会話を支援するものはこれまでもいろいろ出ていますが、今回、音声を文字に替えて表示することに特化した機器が発売されました。「翻訳機」でおなじみの「ポケトーク」の難聴者版、「ポケトーク mimi」です。ボタンを押しながら話すだけで音声認識が始まるので、機械が苦手な方でも扱いやすい仕様になっています。

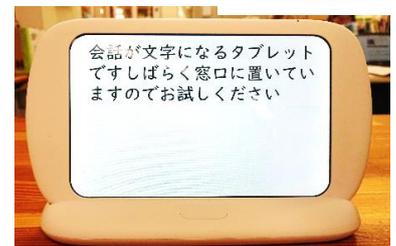
今回、新たにタブレット型が発売され、開発会社のソースネクストから機器の貸出を受けました。ボタンを押さなくても文字変換が始まるので、長時間の会話などにはこちらが便利かもしれません。来年3月末まで窓口に置いてありますので、「試してみたい!」という方はお声かけください。

来年度5月の「聞こえのセミナー」でも体験会を開催する予定です。どうぞお楽しみに。

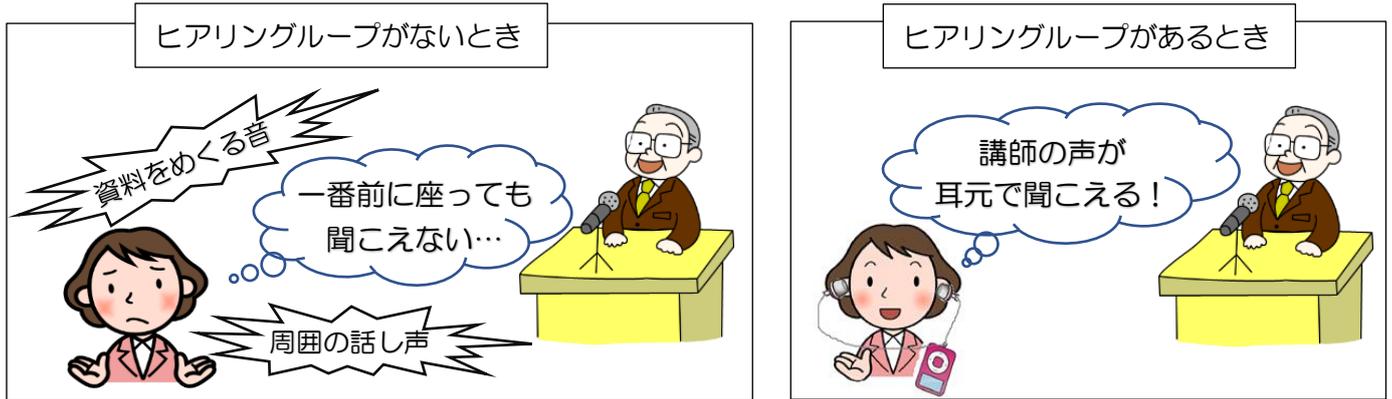
詳細は、ソースネクスト株式会社まで。

電話：0120-228-180(平日10:00~18:00 祝日を除く)

FAX：045-279-5864(24時間受付、返信は祝日を除く平日のみ)



「ヒアリンググループ」をご活用ください



補聴器や専用の受信機で、マイクを使った人の声だけを聞き取ることができる「ヒアリンググループ」。聞こえの状態によってはとても便利に使えるシステムですが、残念ながらご存知ない方が多く、堺市内のホールに設置されているシステムもあまり利用されていません。「対面や、静かな場所なら聞き取れるけれど、講演会や雑音がある場所だと聞こえない」という方は、ぜひ、ご活用ください。

「どんなものが詳しく知りたい!」という方は、堺市立健康福祉プラザで体験できますのでご連絡ください。体験にあたっては、事前に以下のことをお願いいたします。

- ① **必ず事前申込**し、担当者と日程調整をしてからお越しください。
- ② 補聴器をお使いの方は、ご自分の補聴器で「Tコイル」が使えるかどうかをご確認ください。わからない方は、**補聴器店で教えてもらってから**お越しください。

堺市内ホール ヒアリンググループ設置状況

ホール名	設置場所	受信機の貸出
サンスクエア堺B棟ホール	中央身障席とその前列	なし
堺市総合福祉会館6階ホール	なし	なし
フェニーチェ堺大ホール・小ホール	全席	調整中
堺市立中文化会館ソフィア堺	全席	3個
堺市立西文化会館ウェスティ	客席前方（A～H列）	2個
堺市立東文化会館メインホール	全席（前方：弱・後方：強）	なし
堺市立東文化会館フラットホール	なし	なし
堺市立母文化会館	なし	なし
堺市立美原文化会館アルテベル	客席前方	10個
堺市産業振興センターイベントホール	なし	なし

※ 事前に催し物の主催者に「ヒアリンググループを利用したい」とご連絡ください。

※ このほか、堺市が主催している講演会等では、携帯型のヒアリンググループを設置していることがあります。詳しくは、各講演会等の主催者にお問い合わせください。

手話奉仕員・通訳者養成講座

登録試験が終わりました

12月5日(土)に登録試験(手話通訳者全国統一試験)を実施、既修了生も合わせて22名の方が受験されました。お疲れさまでした。

市民向け手話講座は交流会になり、聞こえない方とのおしゃべりを楽しんでいます。

要約筆記者養成講座

座学もしっかり・・・ね！

今年度の実技が終了しました。しばらく座学です。今回は2年コースの講座なので、次の実技は来年度。次が始まるまで、学んだ技術を忘れないようにしてくださいね。

センターの行事

行事はすべて、お申し込み制となっております。また、当日は検温とアルコールでの手指消毒にご協力いただいております。当日、体調不良の方は、ご参加をご遠慮願います。

1月 8日(金) 13:30~16:30

「補聴器相談」 ※要事前予約

1月16日(土) 14:00~16:00

「みみサロン」 ※要事前申込

聴覚障害者用の字幕が入った映画上映会。

※ 聴覚障害者限定です。

身体障害者手帳がなくても、文字でのサポートが必要な方であればご参加いただけます。

2月12日(金) 13:30~16:30

「補聴器相談」 ※要事前予約

2月27日(土) 14:00~16:00

「聞こえのセミナー」 ※要事前申込

難聴と耳鳴りのお話

※ 近畿大学病院耳鼻咽喉科

小林 孝光先生の講演会です。社会状況により、オンラインになる可能性があります。

ビデオライブラリーのおすすめ

「プロフェッショナル 仕事の流儀 絵本作家かこさとし『ただ、こどもたちのために かこさとし 最後の記録』」

「だるまちゃん」と「てんぐちゃん」や「からすのパンやさん」など500作以上の作品を生み出してきた絵本作家かこさとしさん。90歳を越えてなお意欲的に絵本を制作します。未来あるこどもたちのために、衰えゆく体に鞭打ち、命を削るがごとく筆を握ろうとする壮絶な日々を密着取材しています。

「ゲゲゲの鬼太郎 第一話 妖怪が目覚めた日」

渋谷のスクランブル交差点で青年が突然、木に変身。それを目撃していた人も次々木になり渋谷は森と化す。中学生の少女・まなは、それを妖怪の仕業だと言う小学生の裕太に頼まれ妖怪ポストに手紙を投かんします。

頑張っています 手話通訳・要約筆記登録者

実施済

要約筆記者研修 11/25「要約力を高める」
要約筆記者実技研修(手書) 11/25「チームワーク」
手話通訳者研修 12/9「ろう者が求める通訳者とは」
※手話通訳者実技研修(Aランク)は、試験対策講座として10月~11月に8回開催しました。

登録者合同研修 1/26「コロナ禍での対人援助を考えよう」
手引き研修 1/30「コロナ禍での盲ろう者支援」
要約筆記者研修(手書) 2/2「ノートテイク」
手話通訳者実技研修 2/6「聞き取り通訳」

事業状況

		手話通訳		要約筆記		ライブラリー	
		個人	講演	個人	講演	利用者数	貸出数
10月	派遣数	198件	13件	10件	7件	2人	8本
	派遣人数	205人	24人	22人	22人	新規登録者：1人	
11月	派遣数	167件	17件	21件	2件	17人	43本
	派遣人数	178人	32人	34人	7人	新規登録者：5人	

ご協力
ありがとうございました

